

# 教 育 研 究 業 績

氏名 高瀬 雄二  
学位： 教育学修士

研 究 分 野	研 究 内 容 の キ ー ワ ー ド	
教育学	教科教育 社会科教育 問題解決学習 総合学習 探求学習	
主要担当授業科目	社会科指導法 社会 子ども学基礎演習 子ども問題特講 教育実習等	
教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例 (1)小学校の授業を想定し、小学校現場で直ぐに役立つ指導力を身に付ける授業実践	令和6年4月～現在	東京成徳大学での教科指導法（社会科指導法、社会）の授業では、小学校現場を想定し、小学生に具体的指導ができるよう授業を実践している。小学校に於ける具体的な事例や映像等を授業を進めている。また、ペアワークやグループ討議を積極的に取り入れ、全体で発表したことをまとめて一定の知見を導けるように工夫している。UNIPA や Teams を活用し、グループ協議や模擬授業などを取り入れている。また、アクティブラーニングを実現できるように発表された内容を全体に提示し授業を構成するように工夫している。
(2)小学校教育実習に於ける模擬授業での指導案検討や授業準備について	令和6年4月～現在	小学校現場で経験した事例をもとに、教育実習の充実に繋げられるように配慮している。また、教員採用試験の合格を見据え、具体的な事例や冊子を紹介しながら、実践的な指導力の育成を心がけている。
2 作成した教科書、教材 (1)本学授業での提示資料等	令和6年4月～現在	各授業では、ホワイトボードにプロジェクター等でPC画面の資料提示するように心がけている。毎回の授業では課題レポートを配布し、同時に学習指導要領やその関連の講義内容を確実に理解し、自らの考えをもてるような独自の教材や配布資料を作成している。
(2)授業での配付資料	令和6年4月～現在	日本文教出版で編集発行している、安野功先生(現國學院大学教授：元文部科学省小学校社会科教科調査官)著「授業力アップを目指す社会のABC」他の冊子(教科書発行者行動規範に則り配布を許可された)を活用して実践的な小学校での社会科指導方法について授業を具体的に進めている。
3 教育上の能力に関する大学等の評価 (1)学生による授業評価	令和6年4月～現在	4月より担当している授業では、学生の主体性を育む授業形態を取り入れている。その中では対話的な授業展開を心がけている。各学生が小学校での教員としての実践力が身に付くように一人一人の原体験をもとに授業するよう心がけている。コンピュータでプレゼンを活用し、UNIPAのクラスプロフィールや具体的な指導資料を配布及び提示し、指導力育成に直結する内容を意識して計画・実施している。そのため、学生からの意欲的な授業への参加が見取れている。今後の評価では、肯定的な回答を得ることができると確信している。
4 実務の経験を有する者についての特記事項		
(1)教育実習生への指導・育成	平成2年～令和6年3月	東京都公立小学校に勤務していた34年間にのべ数十名の教育実習生を担当した。また、その中から現在も多くの小学校教員として勤務している現職教員もいる。中には、副校長に昇任している教員もいる
(2)現職教員への指導助言	平成19年4月～平成26年3月	墨田区教育委員会指導主事として初任者研修を担当し、多くの新規採用教員への指導育成を経験した。また、その後、主幹教諭として校内で若手教員、教育実習生を担当する教員へ、どの様に教育実習生を指導育成すべきかについて指導助言を行った。
(3)教育管理職として若手教員への指導助言	平成26年4月～令和6年3月	教育管理職として、校内全体で、若手教員及び教育実習生への指導育成及び関わり方について組織として対応できるように学校経営の中心に人材育成の観点と働き方改革の視点で学校経営計画を立案した。そのため、一人として途中でリタイアがでなかった。
5 その他		特記事項なし
職 務 上 の 実 績 に 関 す る 事 項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許 (1)教員免許	昭和62年3月 昭和62年3月 平成16年3月	小学校教諭一種 小教1 普 第1800号小全 東京都教育委員会 中学校教諭二種 中教2 普 第3158号国語 東京都教育委員会 小学校教諭専修 小教専修 第54号小全 東京都教育委員会
(2)社会教育主事	昭和62年3月	社会教育主事 免許番号 第30号 青山学院大学
(3)学校図書館司書教諭	昭和62年3月	司書教諭 免許番号 第141012号 文部省

2 特許等			特記事項なし	
3 実務の経験を有する者についての特記事項			前掲参照	
4 その他 第4 3期 東京都教育研究員(小学校社会)	平成10年 11月		《全体研究主題》自分なりの考えをもち、意欲的に追求する社会科学習 《第5学年研究主題》調べる過程で、自らの考えを高めるための学習活動の工夫、第5学年分科会に所属し社会科学習について実践研究をした	
研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
1 「小学社会」教科書及び指導書	共著	平成17年度版 平成23年度版 平成27年度版 令和2年度版 令和6年度版	日本文教出版 日本文教出版 日本文教出版 日本文教出版 日本文教出版	5年「わたしたちのくらしと水産業」 5年「自動車工業のさかんな地域」 6年「わたしたちの願いと政治のはたらき」 5年「情報を生かして発展する産業」 3年「店ではたらく人々の仕事」 平成15年から日本文教出版の教科書及び指導書、デジタル教科書についての研究開発に携わり現在までその執筆及び編集を行っている 指導主事として、編集、取材、分担執筆「墨田区全体を俯瞰する単元」 編集、取材、分担執筆 「わたしたちのまちの工場たんけん」(pp42～52) 靴工場の単元開発 「さあ、社会科がはじまるよ～！」(pp2～9)
2 小学校3年社会科副読本「わたしたちのすみだ」	共著	平成20年度版	墨田区教育委員会	
3 小学校3年社会科副読本「わたしたちの台東区」	共著	平成20年度～ 24年度版	台東区教育委員会	編集、取材、分担執筆 「わたしたちのまちの工場たんけん」(pp42～52) 靴工場の単元開発
4 小学校3・4年 社会科副読本「わたしたちの足立と東京」	共著	平成25年～29 年度版	足立区教育委員会	「さあ、社会科がはじまるよ～！」(pp2～9)
5 教職研修総合特集 「生きる力」を育てる新しい授業 《全6巻》No2 学習環境の創造－実践 の工夫と技術－	共著	平成9年10月 1日	教育開発研究所	編集代表 加藤幸次(上智大学名誉教授) 編集 加藤幸次/佐久間茂和 3Third step 学習環境を生かし多様に学ぶ普通 教室での取り組み コンピュータを活用する (pp177～183)
6 教職研修総合特集 子どもを伸ばす少人数指導の工夫と 実践	共著	平成14年10 月1日	教育開発研究所	編集 加藤幸次 3-3 少人数指導とチームティーチングについ て (pp79～82)
7 ピンポイント新教育課程実践<全 6巻>No.6 発展的指導・補充指導 50 のポイント	共著	平成15年3 月1日	教育開発研究所	編集 加藤幸次 4章小学校－発展的・補充的指導の実践プラン (pp128～131) 社会：の興味・関心に応じた課題 選択によるグループ別指導について
8 定本 総合的な学習ハンドブック	共著	平成15年10 月10日	ぎょうせい	編集代表 児玉邦宏 編者 浅沼茂・佐藤真・高瀬雄二 1-10 命・性と総合的な学習 (pp116～117)
9 教職研修総合特集 クローズアッ プ<学校の課題解決>②習熟度別指 導・少人数指導を成功させる40のポ イント	共著	平成16年6月 1日	教育開発研究所	編集 浅沼茂(東京学芸大学) 第3章<小学校における実践的ポイント>10 理科における課題選択と習熟度別指導・少人数指 導 自主的な学習活動を前提に計画する (pp121 ～126)
10 学力向上をめざす 個に応じた指 導の理論	共著	平成16年10 月1日	黎明書房	加藤幸次監修 全国個性化教育研究連盟編著 第4章小学校社会科 学力向上をめざす個に応 じた社会科指導の理論と実践 (pp56～64)
11 教職研修 “信頼される学校づく り”に向けたカリキュラムマネジメン ト(全3巻)第3巻 一人ひとりの学 びを育む少人数指導のマネジメント	共著	平成18年4月 1日	教育開発研究所	編集 浅沼茂 教科横断的な単元計画と少人数指導(社会、総合、 理科、保健体育他) (pp117～120)
12 教職研修総合特集 学校の人材 育成力校長・教頭の出番2 ミドルリ ーダーを育てる71人が語る現場リー ダー・頼れる先輩	共著	平成19年4月 1日	教育開発研究所	編集 佐久間茂和 (pp146～147)「経験に裏付けされた見識を若手教 員に背中で伝えている」
(学術論文)				
1 「小学校総合的な学習の時間におけ る題材(テーマ)決定に関する一考察」	単著	平成16年1月 20日	東京学芸大学大 学院修士論文	子どもが主体的に総合的な学習の時間の学習活 動の題材の設定をするための研究

2 「特別活動の理論と実践」における教育内容・方法に関する開発研究－特別活動を指導する実践的指導力の養成を中心として－	共著	平成9～11年 平成12年3月	文部省助成による教職課程における教育内容・方法に関する開発研究「教育課程及び指導方法に関する科目・特別活動の指導方法」部門研究報告書	研究代表者 下田好夫（信州大学教育学部教授） 5節 特別活動と社会教育＜実践報告＞pp45～46 特別活動と社会教育について「エンカウンターゲームが教室での特別活動のどのようによ効か」
3 文部科学省委嘱研究 日常生活と学習内容の関連性を重視した教材集	共著	平成16年3月	日常生活教材作成研究所会 （国立教育政策研究所内）	研究代表 国立教育政策研究所次長 小田豊 総合的な学習の時間における実践発表 人の誕生と成長の秘密を探ろう－男の子・女の子の時の心と体は－
（その他）				
1 社会科・生活科 授業の探求14 社会科教育研究センター・生活科の授業を探求する会	共著	平成8年8月1日2日	社会科教育研究センター・生活科の授業を探求する会	会長 大野蓮太郎 国立教育研究所名誉所員 研究テーマ「総合的な学習を見据えたこれからの社会科・生活科の授業」 テーマ別分科会 第5学年②マルチメディアを利用して問題解決能力を育てる－インターネットを利用して－（pp19～25）
2 平成8年度 第28回協力指導組織研究全国大会（東京大会）千代田区立番町小学校	共著	平成8年10月11日12日	全国協力指導組織研究協議会	第4分科会 提案2「学習用ソフトウェアの開発と効力教授におけるコンピュータの活用」（pp44～47）
3 第48回 学校視聴覚教育全国大会 東京・足立区大会 東京都小学校視聴覚教育研究会研究発表	共著	平成8年12月3日	東京都小学校視聴覚教育研究会研究発表	公開保育・授業学習指導案 第6学年 社会科学習指導案「世界の中の日本」インターネットを活用した公開授業
4 社会科・生活科 授業の探求16 社会科教育研究センター・生活科の授業を探求する会 公開授業（足立区ギャラクシティ）	共著	平成10年8月4日5日	社会科教育研究センター・生活科の授業を探求する会	会長 加藤幸次 上智大学 研究テーマ「総合的な学習を見据えたこれからの社会科・生活科の授業」 公開授業案 第6学年「天下統一のゆくえ」の学習をとおして（pp8～11）
5 個性を育てる 特集 総合学習の理論と実践Ⅲ 第15号紙上発表	共著	平成13年6月23日	全国個性化教育研究連盟編著（現：日本個性化教育学会）	「知らせよう！伝えよう！ぼくたち私たちの花畑」（pp63～66）
6 個性を育てる ブックレット黄本シリーズ第1号紙上発表	共著	平成14年9月6日	全国個性化教育研究連盟編著	子どもの知りたいから出発した学習が気がついてみたら総合に（pp29～32）
（実践発表等）				
1 第9回 朝日CAIシンポジウム 実践セミナー提案	単著	平成4年8月	朝日CAIシンポジウム実践セミナーでの発表	小学6年社会科 歴史新聞作りを通してのコンピュータリテラシーの育成及び道具（ツール）としてのコンピュータ活用
2 NEC PC SEMI 小学校活用事例集 わくわくネットワーク	共著	平成4年	NEC	実践発表
3 先生とNECを結ぶ教育情報誌 PCふれあい広場 特別号2	共著	平成8年	NEC	PC活用事例
4 一太郎スマイル、ジャストスマイル開発協力者	共同開発	平成11年6月	ジャストシステム	教育統合ソフトウェア開発協力
5 朝日小学生新聞掲載 「西新井第一小学校4年2組見てみて学校新聞（ゴミ、命を守る、交通安全、檜原村他）」	取材	平成16年3月3日	朝日小学生新聞	足立区西新井第一小学校4年での実践を新聞紙上で発表
6 墨田区小学校教育研究会視聴覚部に 講師として指導講評「よりよいコミュニケーションをめざす情報教育「社会科の実践を通して」	指導講評	平成20年7月9日	墨田区視聴覚教育研究会	墨田区教育研究会情報部会にて講師として指導講評及び講演
7 東京都小学校視聴覚教育研究会実践授業講師	指導講評	平成21年10月23日	東京都小学校視聴覚教育研究会	板橋区立志村第一小学校5年研究授業指導講評 生きる力を育む視聴覚教育の追求 5年社会・総合「テレビコマーシャルを知ろう」
8 朝日小学生新聞掲載 「3年社会科・総合学習の取り組み、社会科から出発した地元を紹介する地図を作ったよ」	取材	平成20年11月23日	朝日小学生新聞	台東区立松葉小学校3年での実践を新聞紙上で発表
9 台東区教育研究会社会科部 研究授業「くらしをささえる水」	研究授業	平成23年6月8日	台東区小学校教育研究会社会科部	台東区立富士小学校4年 研究紀要 pp6～19「社会的事象に対する理解を深め、社会に進んでかわり合おうとする児童の育成」
10 足立区小学校教育研究会社会科部研究授業 5年社会科「いまだんな自動車が求められているの」	研究授業	平成24年10月17日	足立区小学校教育研究会社会科部	調べて考える力を育てる社会科の授業～自ら進んで社会に関わろうとする指導法の工夫～ 研究紀要発表 pp29～44

(注) 「研究業績等に関する事項」には、書類の作成時において未発表のものを記入しないこと。